

---

# オレのかあさんへ

さばのみそに

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

オレのかあさんへ

### 【コード】

N0612J

### 【作者名】

さばのみそに

### 【あらすじ】

ありがとう。ただそれだけを言いたかったんだ。

拝啓、オレのかあさんへ

オレは親不幸なガキです。

いつも悪戯いたずらばかりしてしまいましたね。  
かあさんが大事にしてた写真立て割ってごめんなさい。

小学校の運動会するとき、わざわざつくってくれた卵焼きが美味しかったよ。

中学校に入ってから赤点何回もとっちゃってごめんね。

学校の窓ガラスにヒビ入れて学校まで呼んでごめんなさい。  
先生の前で何度も一緒に頭を下げさせてごめんなさい。

でもうちに帰る途中にあんたは偉いってほめてくれたね。  
何で？って聞いたら人にちゃんと謝ることができる子はすごいんだ  
よって言ったね。

オレ、我儘だから好き勝手やってしまいました。  
反抗してしまったこともあったね。

中学校の授業参観で手紙交換したとき、オレは適当な文章を書き  
ました。

かあさん手紙になんて書いたか覚えてる？

生まれてきてくれてありがとう

この一言しか書いてなかったけどオレはこの一言の重みを知ったんだ。

高校生になって彼女もできて、でも振られて……。

離婚した父さんが死だつて聞いて、オレは母さんに親孝行しないとて思った。

でも何したらいいかわからなかった。

かあさん、オレ今日で24歳になります。

オレのために一生懸命お金を稼いでくれましたね。

大学はいかないつていったのに、ムリして行かせてくれましたね。へこんだとき、いつもなくさめてくれましたね。

オレこんなガキなのに父親になっちゃったね。

親戚とか友だちは20歳で父親は早いつて反対したけど母さんだけは喜んだね。

子供が生まれたときはホント嬉しかったな。

小さい手を握った時笑ったんだよ。可愛かったな。オレって親バカかな。

子供は今年4歳になります。月日が経つのは早いね。

オレが死ぬつて病院の医者に言われてからもう3年も経つよ。

すごいね、オレどこまでいけるかな。

でもかあさんに何一つまだ恩返ししてないよ。

ありがとうって何回言えばいいかな。  
もっと生きたいです。でもそんなこと恥ずかしくてとても言えませ  
ん。

子供に一番最初に送った言葉は「生まれてきてくれてありがとう」  
です。

かあさんもこんな気持ちだったのかな。

子供がランドセル背負うところ見たかったな。

奥さんにつらい思いさせてしまったことを後悔しています。

ガンってやだね。人ごとだと思ってたら自分になっちゃったよ。

病院の薬のにおいはやっぱりきらいだな。かあさんの卵焼き食べた  
いよ。

こうやって手紙を書くと、自分のこの心臓がもうすぐ止まるって実  
感します。

一つだけ約束してくださいかあさん。この手紙を読んでも泣かない  
てください。

オレ、ありがとうってかあさんに面と向かって言ったことなかった  
ね。

オレはめっちゃめっちゃ親不幸です。

ねえかあさん。もしもオレがもうちょい、あとちょっと生きられた  
らさ……

皆で海に行こう。かあさん大好きだったよね。オレも好き。

最後になるけどオレの親孝行の仕方はこれしかありません。

一日でも長く生きる。

ベタかな。ベタって知ってる？魚じゃないよ。  
生まれてきてよかったな〜って思うよかあさん。

生んでくれて、オレのかあさんでいてくれてありがとう。  
女手一つでここまで育ててくれてありがとう。

かあさんより先に天国あうちに行くなんて親不孝だね。  
ホントごめんね。

立派な息子なんかじゃないけどかあさんの子供でよかった。  
ありがとう。ありがとう。

かあさんはオレの自慢です。  
オレの奥さんと子供頼みます。また苦勞かけちゃってごめんね。

かあさんオレを生んでくれてありがとう。

拝啓、オレのかあさんへ

オレの人生は幸せで満ちていました。  
かあさんの笑顔がオレの宝物です。いつまでも元気でいてください。

先に行って待っています。そねじゃ、いつてきます。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0612j/>

---

オレのかあさんへ

2010年10月14日22時56分発行